

第3章 医学部医学科・大学院医学研究科

資料1 医師として求められる基本的な素質・能力

1. プロフェッショナリズム： 職責と患者中心の医療の実践
 2. 医学知識と問題対応能力： 根拠に基づいた医療
 3. 診療技能と患者ケア
 4. コミュニケーション能力
 5. チーム医療の実践
 6. 医療の質と安全管理
 7. 社会における医療の実践： 地域社会・国際社会への貢献
 8. 科学的探究： 医学研究の必要性
 9. 生涯にわたってともに学ぶ姿勢
-

資料2 弘前大学医学部医学科の目的

1. 豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者を養成する。
 2. 常に進歩を続ける医学を効果的に教育するためのカリキュラムを整備し、具体的な到達目標を明示することによって、学生が自主的に学習できるような教育を行う。
 3. 明確な目的意識と使命感を持った医師及び医学研究者を養成するために、学生が深く真理を探究し、人間性と社会性を高めることのできる教育を行う。
 4. 国際水準の基礎的、かつ応用的な医学研究を推進するとともに、高度で先端的な医療を地域社会と連携して実践する。
-

資料3 医学科における三つのポリシー

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

医学部医学科では、上述のカリキュラム・ポリシーに基づいて編成された教育課程にそって医学的専門知識と技能を習得するとともに、人間の尊厳を希求し、医学の発展の一翼を担うために、求められる社会的役

割を的確に果たすことができる三つの素養を、身につけたものに対して学士（医学）の学位を授与します。

具体的には、つぎの目標に達していることが学位授与の条件となります。

- ・ 豊かな人間性と高度な医学の専門知識を身につけ、人間的・科学的観点から社会の要請を見通す力を身につけていること
- ・ 広い視野と柔軟な思考力を基盤に、医療・医学の問題を解決していく実践的な力を身につけていること
- ・ 専門性を生かした国際基準の基礎的かつ、応用的な医学・医療を常に学修し、生涯にわたり自らを成長させ続ける力を身につけていること

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医学部医学科は、国際認証に相応しい医学教育に基づき、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

1) 教養教育について

教養教育は、医師・医学研究者を目指す学生の探究の第一歩です。

- ・ 学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより、高度先端医療や地域医療が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。
- ・ 学生に高度先端医療や地域医療の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

2) 専門教育について

医師・医学研究者を目指す専門教育は、学生の探究の集大成です。

- ・ 学生に国際認証に対応した医学的専門知識と技能を体系的に教授することで、医療・医学への洞察を深化させます。
- ・ 学生に、医学的専門知識と技能を医療・医学の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて各専門領域の深い見識と医療倫理・医学倫理も、実践を通して培います。
- ・ 診療参加型実習を主体に、学生が医療現場の一員として充実した大学生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1) 医学部医学科が求める学生像

医学部医学科では、豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成を目的としています。そのような人材の養成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求

めます。

- ・ 医学教育を受けるに十分な素養で、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- ・ 他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら、高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力
- ・ 生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち、何事にも前向きに取り組み、知的・人格的に成長していかうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

2) 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程

大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書の結果を総合して選抜します。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、個別学力検査では、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を評価します。面接では医療人としての適性を評価します。

(2) A O入試Ⅱ

出願書類、大学入試センター試験、面接、模擬講義に関する筆記試験、ケーススタディの自学自習、ワークショップの結果を総合して選抜します。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、模擬講義に関する筆記試験、ケーススタディの自学自習及びワークショップでは、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を評価します。面接では医療人としての適性を評価します。

(3) 学士編入学(第2年次)

出願書類、TOEFL、基礎自然科学・数学、面接の結果を総合して選抜します。TOEFL、基礎自然科学・数学では基礎学力、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を評価します。面接では医療人としての適性を評価します。

資料4 医学科の専門教育科目(専門基礎科目・専門科目)

【専門基礎科目】

専門基礎科目	履修年次
1. 医学英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	1、2、3、4年次
2. 医用統計学	2年次
3. 被ばく医療学	2年次

【専門科目】

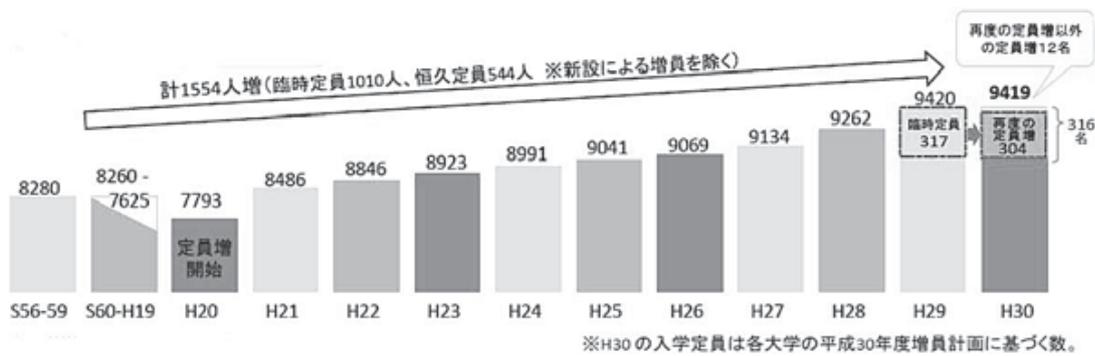
専門科目 / コア科目	履修年次
1. 医の原則	1年次
2. 医用システム工学概論	2年次
3. 地域医療入門	2年次
4. 解剖学	2年次 (2019年度より1, 2年次)
5. 生理学	2年次
6. 生化学	2年次 (2019年度より1, 2年次)
7. 免疫学	2年次
8. 組織学	2年次
9. 神経科学	2年次
10. 薬理学	2、3年次
11. 病理学	2、3年次
12. 微生物学	2年次
13. 社会医学	3年次
14. 外科学概論	3年次
15. 消化器内科学・外科学Ⅰ、Ⅱ	3年次
16. 循環器内科学・外科学Ⅰ、Ⅱ	3年次
17. 内分泌・代謝学Ⅰ、Ⅱ	3年次
18. 血液内科学Ⅰ、Ⅱ	4年次
19. 呼吸器内科学・外科学Ⅰ、Ⅱ	3年次
20. 感染症学	3年次
21. 臨床免疫学	3年次
22. 神経精神医学Ⅰ、Ⅱ	3年次
23. 小児科学Ⅰ、Ⅱ	3年次
24. 婦人科学	3年次
25. 周産期医学	4年次
26. 神経内科学	3年次
27. 腎臓内科学	3年次
28. 症候学	4年次
29. 整形外科学Ⅰ、Ⅱ	3、4年次
30. リハビリテーション医学	4年次
31. 麻酔科学・緩和医療学Ⅰ、Ⅱ	3、4年次
32. 放射線診断学	3年次
33. 放射線腫瘍学	4年次
34. 臨床腫瘍学	4年次
35. 皮膚科学	4年次

第2編 各部局・附属機関・附属施設の歩み

36.泌尿器科学	4年次
37.眼科学	4年次
38.耳鼻咽喉・頭頸部外科学	4年次
39.脳神経外科学	4年次
40.歯科口腔外科学	4年次
41.形成外科学	4年次
42.救急・災害医学	4年次
43.臨床検査医学	4年次
44.臨床薬理・和漢薬学	4年次
45.小児外科学	4年次
46.病理診断学	4年次
47.法医学	4年次
48.医療安全学	4年次

専門科目 / 演習・実習科目	履修年次
1. 基礎人体科学演習	1年次
2. 臨床医学入門	1年次
3. P B L	4年次
4. 解剖学実習	2年次
5. 生理学実習	2年次
6. 生化学実習	2年次
7. 組織学実習	2年次
8. 神経科学実習	2年次
9. 薬理学実習	3年次
10. 病理学実習	2、3年次
11. 微生物学実習	2年次
12. 社会医学実習	3年次
13. 臨床実習入門（演習）pre-BSL	4年次
14. 臨床実習 I	5年次
15. 臨床実習 II	6年次
16. 総合教育演習 I（CBT）	4年次
17. 総合教育演習 II	6年次
18. 総合教育演習 III（総合試験）	6年次
19. 特別教育科目（研究室研修）	3年次

資料5 医学部入学定員の推移



資料6 平成21～30年度入学者の入試形態分類

AO入試		一般入試		学士編入学(第2年次)	
県内枠	地域枠	全国枠	県定着枠	全国枠	青森県内枠

AO入試の入学者全員、一般入試の県定着枠、および学士編入学の青森県内枠が“地域定着枠”としての入学者

資料7 入学定員・地域定着枠の変遷

入試制度 入学年度	AO入試		一般入試(前期日程)		学士編入学		入学定員 (地域定着枠数)
	地域枠	県内枠	全国枠	県定着枠	全国枠	県内枠	
平成21年度	15	25	50	10	15	5	120(55)
平成22年度	15	25	50	15	30	10	145(65)
平成23年度	15	25	50	15	15	5	125(60)
平成24年度	15	25	50	15	15	5	125(60)
平成25年度	15	25	50	17	15	5	127(62)
平成26年度	15	27	50	20	15	5	132(67)
平成27年度	17	30	50	15	15	5	132(67)
平成28年度	20	30	50	12	15	5	132(67)
平成29年度	20	30	50	12	15	5	132(67)
平成30年度	17	30	50	15	15	5	132(67)

平成21年度：一般入試前期日程県定着枠(新設)を10名増。推薦入試を廃止してAO入試に変更(地域枠15名，県内枠25名)。

平成22年度：一般入試前期日程県定着枠を5名増。学士編入学を3年次から2年次後期に変更。

平成25年度：一般入試前期日程県定着枠を2名増。

平成26年度：一般入試前期日程県定着枠を5名増。一般入試前期日程県定着枠2名をAO入試県内枠に振替。

平成27年度：一般入試前期日程県定着枠5名をAO入試(地域枠2名，県内枠3名)に振替。学士編入学を2年次後期から2年次前期に変更。

平成28年度：一般入試前期日程県定着枠3名をAO入試地域枠に振替。

平成30年度：一般入試前期日程県定着枠を12名減。AO入試地域枠を3名減。

資料8 地域別入学者数

年度	青森県	東北5県	北海道	その他	計
23	40 (21/19)	13 (9/4)	5 (3/2)	47 (38/9)	105 (71/34)
24	41 (25/16)	12 (7/5)	4 (2/2)	48 (29/19)	105 (63/42)
25	42 (23/19)	10 (6/4)	4 (1/3)	51 (37/14)	107 (67/40)
26	46 (23/23)	15 (6/4)	2 (0/2)	49 (34/15)	112 (66/40)
27	44 (30/14)	17 (11/6)	5 (4/1)	46 (26/20)	112 (71/41)
28	49 (23/26)	12 (7/5)	1 (1/0)	50 (32/18)	112 (63/49)
29	48 (21/27)	19 (8/11)	7 (4/3)	38 (17/21)	112 (50/62)
30	45 (30/15)	14 (5/9)	5 (2/3)	48 (22/26)	112 (59/53)

資料9 志願者倍率推移（カッコ内は受験者倍率）

年度	A O入試	前期日程	計
23	2.20 (2.20)	12.31 (11.21)	8.46 (7.78)
24	2.70 (2.70)	13.20 (11.53)	9.20 (8.17)
25	3.03 (3.03)	13.34 (11.87)	9.49 (8.56)
26	2.10 (2.10)	13.40 (11.72)	9.18 (8.13)
27	2.17 (2.17)	13.67 (11.83)	8.85 (7.78)
28	2.50 (2.50)	15.39 (13.53)	9.63 (8.61)
29	2.70 (2.68)	7.81 (6.78)	5.53 (4.89)
30	2.23 (2.23)	8.22 (7.09)	5.71 (5.05)

第2編 各部局・附属機関・附属施設の歩み

募集人員：

A0 入試（すべて地域定着枠）は、平成 25 年度までは定員 40 名、平成 26 年度 42 名、平成 27 年度 47 名、平成 28・29 年度 50 名、平成 30 年度 47 名。前期日程の定員は、平成 21 年度は 60 名（うち青森県定着枠 10 名）、平成 22 年度～平成 24 年度 65 名（定着枠 15 名）、平成 25 年度 67 名（定着枠 17 名）、平成 26 年度 70 名（定着枠 20 名）、平成 27 年度 65 名（定着枠 15 名）、平成 28・29 年度 62 名（定着枠 12 名）、平成 30 年度 65 名（定着枠 15 名）。

この結果、A0 入試と前期日程を合わせた定員は、平成 21 年度 100 名、平成 22 年度～平成 24 年度 105 名、平成 25 年度 107 名、平成 26 年度～平成 30 年度が 112 名となっている。